

防災教育学習「サバイバル飯炊き製作」学習指導略案

日 時 令和5年（2023年）9月22日（金）2～3時限目
 場 所 各クラス教室、セントラルパーク
 対 象 熊本県立球磨工業高等学校2学年生徒
 実施者 2学年 HR 担任・副担任、各科職員、その他職員

1 本時の目標

- (1) 電気やガス等のライフラインが使用できない際、温かい食事をつくることができる技術を身に付ける。
- (2) 製作を通して、安全に作業することを学ぶ。
- (3) チームでの製作を通して、災害時における自助だけでなく、共助することの必要性も学ぶ。
- (4) 災害に遭った際に、被災後の行動とその準備を考える。

2 本時の展開

	学習活動	教師の活動および 指導上の留意点	支援方法 (工夫・改善)
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前までに、実習服に更衣をする。 ・各クラス教室で、GoogleMeetにより、講師から挨拶及び本学習の目的等について、話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始前までに、実習服に更衣をするよう生徒へ連絡する。 ・GoogleMeetの接続準備をする。 ・講師の話をしっかりと聞き、必要に応じてメモを取るよう指示する。 	
展開① (缶の加工) 40分 【各クラス教室】	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室で Google スライドを用いて、製作手順の説明をする。 ・缶切りで2缶とも、缶のふた（プルタブ側）を切り取る。 ・1缶の方に、米と水を入れる。（アルミのくずが残っていないか確認） ・もう片方の1缶をカッターで缶の側面上部に排煙用の小窓（約2cm四方）を3～4カ所、缶の側面下部に焚き口（約3cm角）を開ける。 ・紙パックを1cmほどの幅に切る。切った紙パックは輪ゴムでくくっておく。 ・製作の際に出たゴミを分別して捨てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google スライドの接続準備をする。 ・机間巡視をしながら、生徒が安全に作業をしているか等の観察、アドバイスをを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業中は常に集中し、ケガのないように観察、アドバイスを

<p>展開② (米を炊く) 40分【セントラルパーク】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・缶、1cmほどの幅に切った紙パック、米、水、割り箸を準備して、セントラルパークに移動する。 ・カッターで開けた方の缶を下にし、その上に、米と水を入れた缶を重ねる。 ・米と水を入れた缶にアルミホイルを隙間がないように被せ、チャッカマンで1cm幅の紙パックに火を付けて、火を絶やさないように紙パックを入れ続ける。 ・紙パックを入れ終わったら、15分ほど蒸らし、その後、試食する。 ・片付けを行い、ゴミを分別して捨てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャッカマン、アルミホイルを準備して、セントラルパークに移動する。 ・炊き始めるところから、アルミホイル、チャッカマンを渡す。 ・巡視をしながら、生徒が安全に作業をしているか等の観察、アドバイスを行う。 ・チャッカマン、アルミホイルを回収する。 ・ゴミ入れが用意されているので、きちんと分別して捨てるように指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火を取り扱うので、ケガや火傷のないように観察、アドバイスする。 ・火を起こす、火を絶やさないようにするのが難しいと思いますので、観察、アドバイスする。 ・火を燃やしている間や、牛乳パックを入れ終わった直後はかなり熱いので、火傷に注意するよう、指導する。
<p>まとめ 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セントラルパークにおいて、加甲様から講評をしていただく。 ・生徒代表謝辞を防災・整備委員会副委員長（2MB・岡本航河君）が述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡声器の準備をする。 ・講師、岡本君の話をしっかり聞くように指示する。 	

3 役割

- ・総括【永吉、緒方、橋口、岡村】
- ・各HR指導【担任・副担任、各科職員、その他職員】
 - 2MA（大野、▲永吉、■三宅、高木、田端、松村望）
 - 2MB（井手尾、▲渡辺、■村山、菊地、吉留、永田）
 - 2E（岩谷、▲前野、■力、田代、園田崇、喜多）
 - 2A（粟戸、▲岡村、■乙益、横谷、森下、園田有）
 - 2C（中島、▲松村新、■古田、和田、森、井本）
- ・GoogleMeet 接続、準備【緒方】
- ・製作で出た空き缶のゴミ回収【副担任<▲>】（各クラス分を集めて、永吉まで）
- ・防火担当【各科職員<■>】（セントラルパークに消火器を準備する）
- ・写真、記録【山下、園田和】
- ・受付【橋口、竹崎】

4 備考

- ・製作においては、ケガのないように安全を徹底させる。
- ・事前に、2学年保護者・生徒へ学校安心メールやプリントで、防災教育学習のお知らせや準備のお願いをする。
- ・各担任の先生は、クラスの実態に応じて、事前に5～6人程度のグループ分けをお願いします。